

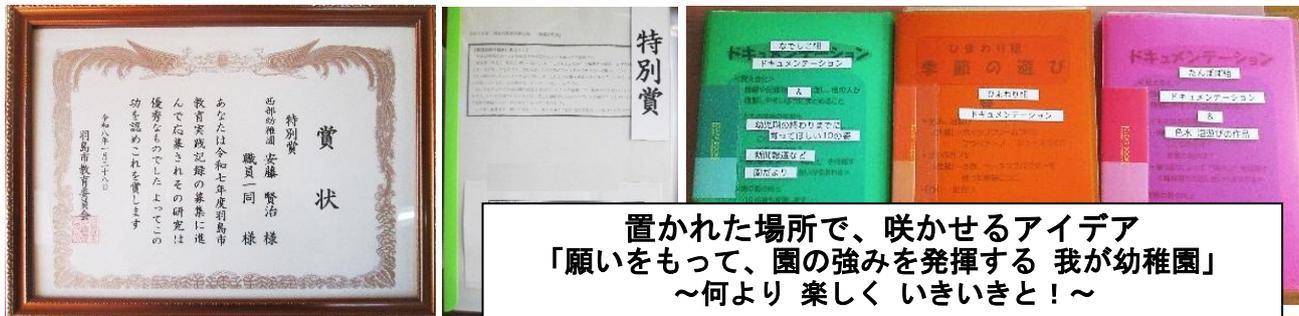


# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和8年2月17日 No.19  
園長 安藤賢治



## 認められた園の勢い！～更なる歩みへ～



置かれた場所で、咲かせるアイデア  
「願いをもって、園の強みを発揮する 我が幼稚園」  
～何より 楽しく いきいきと！～



●羽島市教育委員会の『実践記録』に、「西部幼稚園 職員一同」として応募しました。

応募しようと思ったのは、次の気持ちがあったからです。

西部幼稚園における幼児教育の今が伝わることを願っての記録です。園目標「明るく元気で 夢いっぱい」は、“こどもまんなか”で保護者や職員、見守る地域の方々と思いを共有したものです。だれもが、この目標に向かう日々でありたいと願い、できそうなことをできる限りやっていくことを望んでいます。これまでの積み重ねの上であって、今年は、少しだけ勢いが違っています。より確かな、そして、心地よいものです。かけがえのないこの幼児期の成長を喜び合えることに感謝して、自身のやりがいとしている私たちです。いつも笑顔でいられるのは、そこに仲間がいるからです。目の前にこどもがいるからです。ご家族や地域の方の一声が励みとなっているからです。この今に満足せず、願いを共有して、歩みを確かに前に進める私たちでありたいものです。

\*日々の積み重ねから、たどり着いた“確かな手ごたえ”があります。(実践記録の結び)

遊びは学びです。とことん遊ぶ中で、生きる力の芽生えをそれぞれの成長の証として確かに感じ取ることができました。これこそが、私たちの喜びです。これからも、こどもたちの“命いっぱい輝く毎日”を創造し続けていきます。園長をはじめ職員は、本園の存在価値を自覚しています。本園の現状を受け止め、特徴である多様な個性の集まりを強みとして最大限プラスに向けた教育を進めることは、幼児期の成長にプラスでしかないと考えてモチベーション高く実践を重ねています。これまで以上の勢いがなぜ生まれたかを考えたとき、今年ならではの条件があったからだと言えます。それは、職員の退職と採用による入れ替えがあったからです。これも、強みとして捉えたからこそ生まれたと考えています。置かれた場所でアイデアを咲かせてきました。園職員が笑顔で前向きなことが、こどもや保護者をはじめ、関わる地域の方にも伝わり、好循環を生んでいます。「何より 楽しく いきいきと！」していたからこそその日々だから生み出すことができたこと、異口同音に思いを伝えあえる西部幼稚園だと思っています。今後も、自己研鑽を仲間と共に進める私たちであり続けて、更なる歩みを進めていきます。“明日も またね！”と。

➢「特別賞を受賞しました。審査評にもあるように「方向性の共有」(=共生を願う)を、皆で確認して進めます。

### ＜審査評＞

地域とのつながりを園経営の柱とし、「こどもまんなかチャート」の視点をもって、地域と園職員が協働しながら実践を積み上げてきたことがよくわかります。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿に通じる生きる力の芽生えを、こどもの成長の証としてドキュメンテーションにもまとめてあり、こどもの表情からも「何より 楽しく いきいきと」が感じられました。

今後も、地域学校(園)協働活動の推進、多様な個性との共生、環境構成の工夫で広がり深まる遊びの創造を大切にし、園としての方向性を共有しながら実践することを期待します。

☆これからも、出会ったこどもたちとの“奇跡”を宝物として、成長を願い歩み続けていきます。